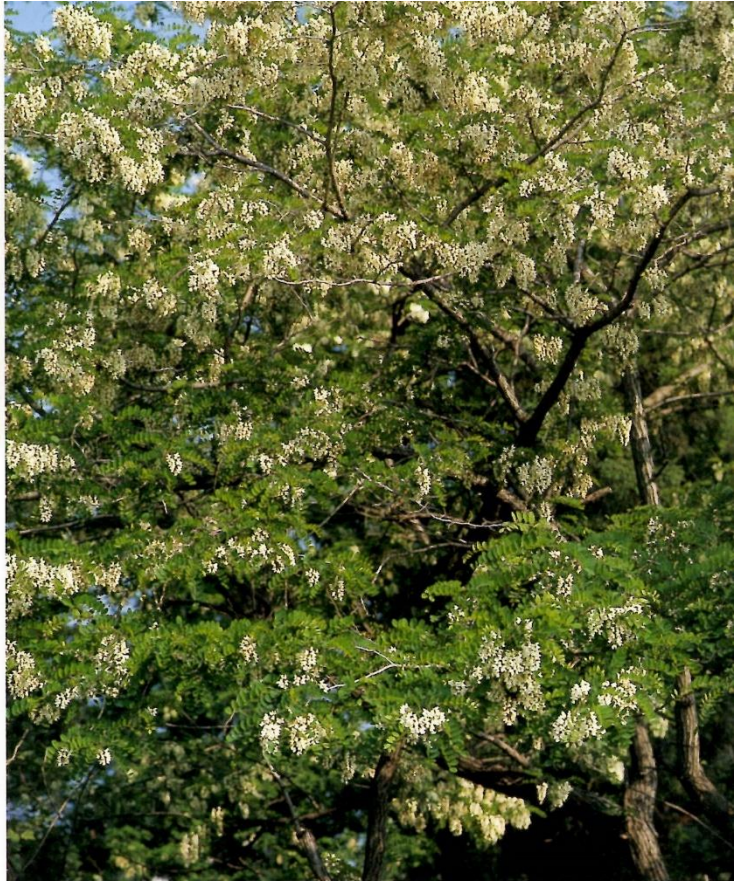




樹形 ● 幹はまっすぐに伸び、まとまった樹形になる。



春にたくさんの花穂を下げ、一際目立つ。



花 ● 蝶形の花が集まって垂れ下がる。桃花の園芸種。

樹高
10~15m



幹はまっすぐに、大きく育つ

【分 布】北海道、本州、四国、九州

ハリエンジュ

●種類：落葉広葉高木
●漢字名：針槐

別名：ニセアカシア

マメ科ハリエンジュ属

葉		
【葉の形】  複葉・羽形	【縁の形】  なめらか	【つき方】  互生
花		実
【花の形】  蝶形	【つき方】  穂状	【実の形】  豆形

一般的にアカシアと呼ばれているのはこの木ですが、本来のアカシア属は「ミモザ」の名前で親しまれるフサアカシアやギンヨウアカシアのこと。そこで「ニセアカシア」の別名があります。

「ハリエンジュ」の名は、枝のつけ根にトゲがあり、エンジュ（P112）に似た葉をつけるためです。

白い花には芳香があり、蜜も豊かで、蜂や蝶が多く集まります。花穂の長さは15~16cmで、葉のわきから垂れるように咲きます。

ハチミツの原料になる

【開花期】 5~6月
【花色】 白
【結実期】 ~10月
【実色】 白、桃、赤



枝 ● 小枝のつけ根にトゲがある。

樹皮 ● 縦にすじが入る。

実 ● 長さ5~10cmで種子は4~7個。



葉 ● 鳥の羽のように小葉が集まって1枚の葉になる複葉。

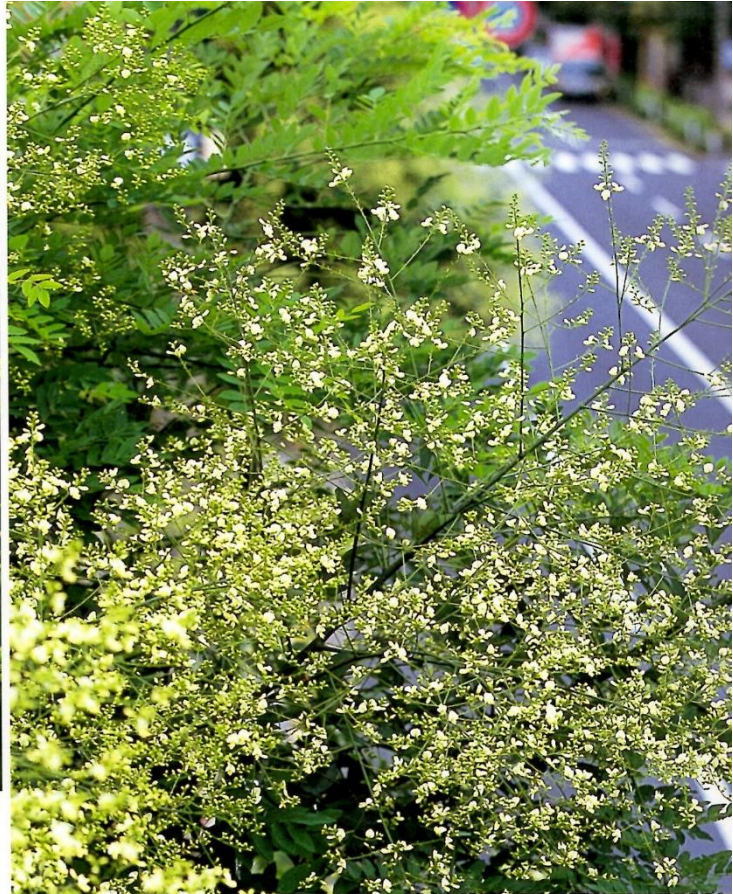
葉 ● 小葉の先端がくぼむのが特徴。



トゲ



花●枝先にいくつか集まって咲く。



街路樹などで親しまれている。

樹高
10~25m



幹はまっすぐに伸び
枝は上へ育つ

【分 布】北海道、本州、四国、九州（外来種）

エンジュ

●種類：落葉広葉高木
●漢字名：槐

別名：—

マメ科エンジュ属

葉		
【葉の形】  複葉・羽形	【線の形】  なめらか	【つき方】  互生
花		
【花の形】  蝶形	【つき方】  房状	【実の形】  豆形

【開花期】 7~8月
【花 色】 黄白
【結実期】 9~10月
【実 色】 緑~茶褐色

樹皮●淡緑で縦に裂
け目が入る。



実はサヤに入った種子が
ふくらみ、ポコポコとして
ユニークです。

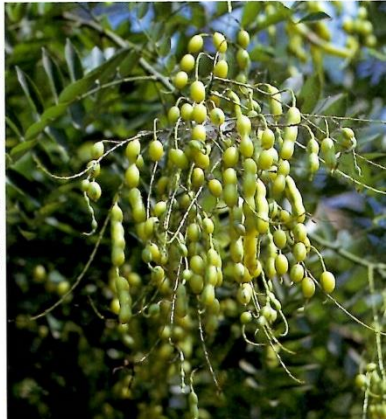
春の新緑から落葉した冬
まで四季の変化が楽しく、
街路樹に利用されています。
葉は、鳥の羽のように小
葉が連った複葉です。小葉
1枚は楕円形で、先端がと
がっています。よく似たハ
リエンジュ（P72）の葉は
先端がくぼむので、区別が
つきやすいでしょう。葉の
裏面は灰緑をしています。
花は、7~8月に枝先に
穂のようになって咲きま
す。

実は数珠のよう
くびれた形になる

葉●小葉は先端がとがった楕円形。



実●種子の間がくびれて数珠の
ように見える。





花●細長い葉は苞（つぼみを包んでいた葉）。

花●小花が房状につく。



開花するとよい香りが漂う。

樹高
10~20m



幹はまっすぐに伸び、
大きく育つ

【分 布】北海道、本州、四国、九州（外来種）

ボダイジュ

●種類：落葉広葉高木
●漢字名：菩提樹

別名：—

アオイ科シナノキ属

葉		
【葉の形】 単葉・楕円形	【緑の形】 ギザギザ	【つき方】 互生
花		
【花の形】 複弁花（5弁）	【つき方】 房状	【実の形】 球形

【開花期】 6月
【花 色】 淡黄
【結実期】 10~11月
【実 色】 緑褐色



樹皮●紫を帯びた褐色で、縦に浅く裂ける。

葉のつけ根から香りのよい花房を垂らす
日本へは12世紀頃に渡来しました。樹下で釈迦が悟りを開いたといわれますが、クワ科のインドボダイジュという別種の樹だったことがわかっています。葉は、長さ6~10cmで、

葉の下部がくぼんだハート形です。裏面と葉柄には毛が生えています。葉のつけ根から垂れ下がるように、淡黄の小花が集まった花が咲きます。実は直径7~8mmで球形、褐色の毛が生えています。



樹形●形よくまとまり、美しい。

フリーシア(ニセアカシア)



樹高
5~12m



幹はまっすぐに大きく育つ

【分布】北海道、本州、四国、九州 (栽培種)

ハナミズキ

●種類：落葉広葉小高木~高木
●漢字名：花水木

別名：アメリカヤマボウシ

ミズキ科サンシュユ属

葉		
【葉の形】  単葉・楕円形	【緑の形】  波打つ	【つき方】  対生
花		実
【花の形】  複弁花(4弁)	【つき方】  単花	【実の形】  集合果

【開花期】 4~5月
【花色】 白、赤、桃、黄
【結実期】 9~10月
【実色】 赤

花●花びらのように見えるのはガク。

庭木や街路樹としてよく利用されています。樹皮は灰黒、葉は卵形で裏面が白っぽくなっています。花のように見え、花びらだと思われているものは、ガクが変化したもので、本来の花は中心部分にまつまっています。秋には、楕円形の実が集まってつきます。食用にはなりません、赤色に熟したものは、ヒヨドリなどの野鳥の好物です。

赤紫色の紅葉も見事で庭木や街路樹に利用

幹がまっすぐに伸びる。



花●白花種。

冬芽●花芽は円盤状で幅約6mm。

葉●鮮やかな色に紅葉する。先端の丸いものは花芽。





花●花びらはフリル状。



曲がった幹とスベスベとした木肌が特徴。



花●花色は白、桃、紅など。

幹は曲がって伸び
定まった樹形にならない

樹高
3~9m



【分 布】本州（東西南部以南）、四国、九州（外来種）

サルスベリ

●種類：落葉広葉小高木
●漢字名：百日紅

別名：ヒャクジツコウ

ミソハギ科サルスベリ属

葉		
【葉の形】  単葉・楕円形	【緑の形】  なめらか	【つき方】  互生
花		
【花の形】  複弁花（5弁）	【つき方】  房状	【実の形】  裂ける

【開花期】 7~9月
【花 色】 白、桃、紅
【結実期】 9~11月
【実 色】 茶褐色



樹皮●薄くはがれて
明るい茶色になる。

花は白、桃または紅で、7~9月に枝先に小花が集まって咲きます。花期が長いことから「百日紅」の名がつけられました。



実●花後に実がつき、熟すと裂ける。

樹皮がはがれやすく表面がスベスベになる
幹はうねるように曲がり、定まった形にはまともりません。
樹皮は淡褐色で、ところどころ皮がはげて白っぽい樹肌が見え、スベスベとしています。
葉は楕円形で葉の茎がほとんどありません。葉の先端は少しくぼむものが多いのですが、とがるものもあります。



葉●葉の先端はくぼむものが多い。

樹高
15~35m



幹はまっすぐに伸び
大きく育つ

【分 布】北海道、本州、四国、九州 (外来種)

スズカケノキ

●種類：落葉広葉高木
●漢字名：鈴懸の木

別名：プラタナス

スズカケノキ科スズカケノキ属

葉		
【葉の形】 単葉・もみじ形	【緑の形】 ギザギザ	【つき方】 互生
花		
【花の形】 裸花	【つき方】 その他	【実の形】 集合果

1つの実に見えるものは、たくさんの実が集まった集合果で、直径は3.5cmです。ひとつひとつの実の先端には鋭くとがったトゲがあります。

雌花には花びらがなく、赤褐色の球状で、直径は1cmほどです。雄花には3〜8枚の花びらがつきます。

7つに切れ込みます。スズカケノキの仲間では、もつとも切れ込みが深いのが特徴です。

世界では一般的な樹木だが日本では少ない。

世界では一般的な樹木だが日本では少ない。

【開花期】	4~5月
【花色】	赤褐色
【結実期】	10~11月
【実色】	茶褐色

花●雌花。花びらがないスズカケノキの仲間特有の形。

世界では一般的な樹木だが日本では少ない。



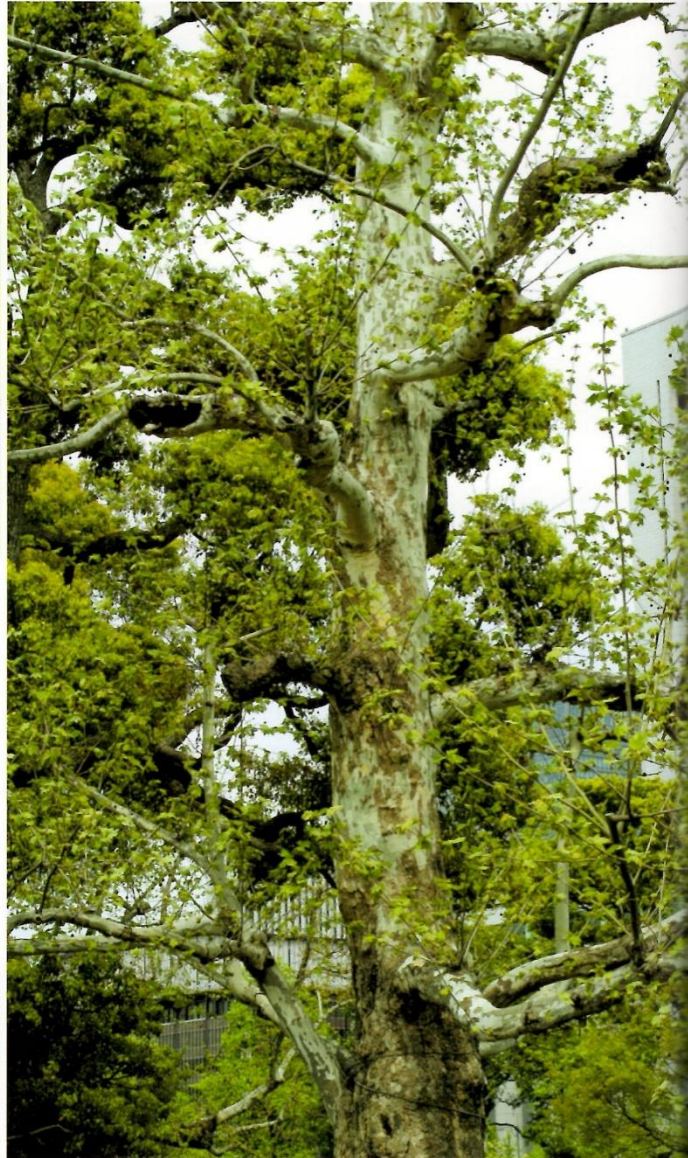
葉●切れ込みがはっきり入る。



実●実の茎がない。



樹皮●はがれて淡緑白のまだら模様になる。



葉 ● 幅15cm前後。5または7つに裂ける。



葉 ● 上部から紅葉し、緑から赤色のグラデーションになる。



幹がまっすぐに育ち、整った姿になる。

樹高
15~25m



幹はまっすぐに伸び大きく育つ

【分布】本州（関東以南）、四国、九州、沖縄（外来種）

モミジバフウ

●種類：落葉広葉高木
●漢字名：紅葉葉楓

別名：アメリカカフウ

マンサク科フウ属



北〜中アメリカ原産で、日本には大正時代に渡来しました。まっすぐに育ち、卵形に整う樹形と、緑から赤までグラデーションになる紅葉の美しさから、公園樹や街路樹として多く利用されています。

名前のとおりカエデ類に似た葉ですが、カエデ類は葉は左右が対になる対生なのに対し、左右交互につく、互生であることが大きな違いです。

実はスズカケノキ(P145)に似ていますが、本種のほうがよりゴツゴツとした感じがあります。

公園樹や街路樹として多く利用されている

【開花期】4月
【花色】茶緑
【結実期】10~11月
【実色】茶褐色

樹皮 ● 淡紅緑。若枝はコルク質。



169



冬芽 ● 枝に左右交互につく。卵形で先端はとがる。



花 ● 雄花の房。長さ5~8cmになる。



葉と実 ● 実は葉の1カ所に1個ずつなる。



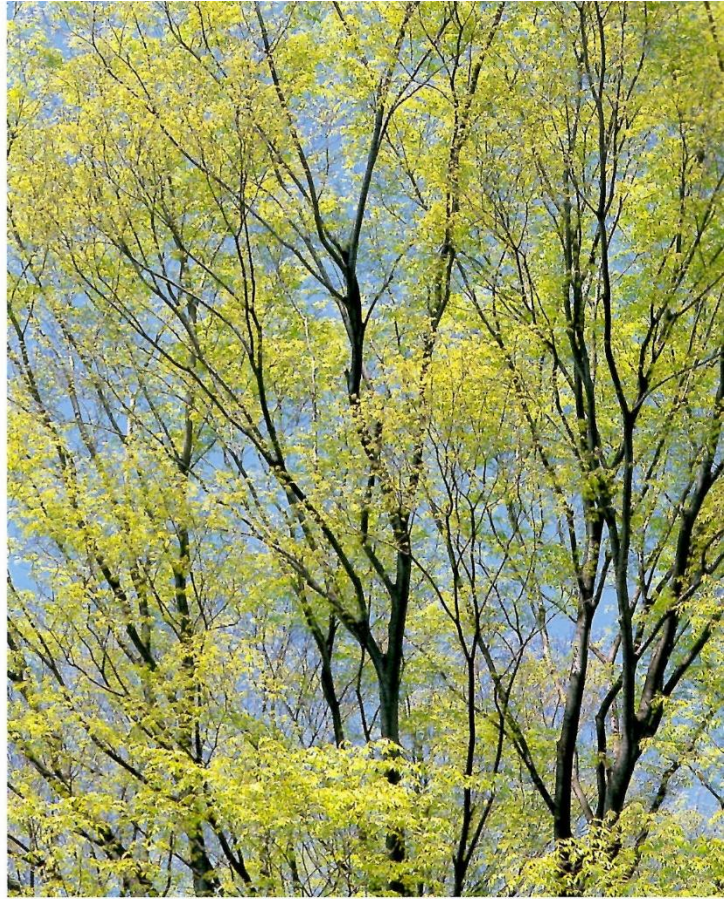
実 ● 数多くの種子が集まってユニークな形に。



秋。黄色から赤色へと色づく。



冬の樹形も美しい。



春。新緑と樹皮のコントラストが鮮やか。

樹高
20~30m



幹はまっすぐに伸び
大きく育つ

【分布】本州、四国、九州

ケヤキ

●種類：落葉広葉高木
●漢字名：櫻、梶

別名：ツキ

ニレ科ケヤキ属



【開花期】4~5月
【花 色】淡黄緑色
【結実期】10月
【実 色】暗褐色

樹皮●老木になるとウロコ状にはがれる。



実●平たい球形で堅い。



四季折々の美しさが古くから愛される公園樹や街路樹として利用されています。古くから関東地方に多く見られた樹で、武蔵野を象徴する樹といわれています。春の芽吹き、秋の紅葉、ホウキ状に大きく枝を広げる姿が美しく、盆栽にも仕立てられ観賞されています。

葉は長さ3~7cm。花はほとんど目立ちませんが、葉のつけ根につきます。樹皮は灰褐色でほとんどなめらかですが、老木になると魚のウロコのようにはがれます。



葉●弧を描くギザギザがある。

花●葉のわきに数個ずつまとまって咲く。

